

第130回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年5月6日（金）16：30～16：41
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

5月5日現在の療養者の状況です。

入院者が176人、うち重症者が2人となっています。

療養者数は、合計で4,082人となっています。

次に、6ページ、新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は118.92人で、先週から減少傾向が続いております。

次に、8ページ、病床使用率の状況です。

病床使用率は23.7%で、先週に比べて低い傾向にあります。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

222.68人で、先週は200人台後半で推移しておりましたが、200人台前半に減少しております。

次に、13ページです。

特に感染が拡大している4市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。会津若松市及び須賀川市は、減少傾向にあるものの、200人を超える高い水準で推移しております。

相馬市は、この一週間、200人を超える日があったほか、200人に近い水準で推移しております。

郡山市は、減少傾向が続き、200人を下回りました。

次に、14ページです。

今ほどの4市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

福島市及び喜多方市の2市が100人を上回っております。

田村市は、5月1日以降、100人を上回る日が続きましたが、5日ぶりに100人を下回りました。

減少傾向にあるいわき市及び本宮市では、100人を下回りました。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(4.3%)、「人口10万人当たりの療養者数」(222.68人)、

「PCR陽性率」(20.2%)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(118.92人)が、レベル3、

「病床の使用率」(23.7%)、「感染経路不明者の割合」(59.3%)が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(4.3%)が、レベル1となっています。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1 接種実績につきましては、5月5日時点で、3回目接種の回数が、

1,088,389回、全人口に対する接種率は58.5%となっております。

資料中段の囲みの部分、想定される5月末累計の対象者、約138万人に対する接種率は78.9%となっております。月が変わり、想定対象者の母数が増えたため接種率は、前回4月26日時点と比べて低くなっております。

また、表の下の部分は、首相官邸ホームページで5月2日に公表された3回目接種の年齢階級別接種率の実績の抜粋になります。前回同様、50歳代と80歳代を除き、本県は全国を上回っております。

最後に、資料はございませんが、小児接種についてです。県では、「福島県新型コロナワクチン子ども相談窓口」を設置し、5歳以上11歳以下のお子さんの保護者の方からのワクチン接種に関する相談に看護師がお答えをしております。連休中も朝9時から夜8時まで、毎日対応しておりますので、この機会に、是非御利用いただきたいと思います。

説明は以上です。

(5) その他

(金光教授)

先ほど来、報告にあったように、ここ数日の新規感染者は減少傾向であるということで、数字的には落ちついていますが、連休中ということで、医療機関がお休みだったり、あるいは受診控えもあったとっております。

連休中は、行楽地などに行かれた方も多いと思いますが、今までの経験からいうと、その後に増加するという事です。

どこに行ったかというよりも、その方が何をしたかということで、感染リスクは変わってくると考えていますが、いずれにしても、連休中に感染して職場に帰って感染させる、あるいは、学校に戻って、あるいは家庭に戻って、そこで感染を広げるということが、一つのパターンとして多くあります。

これらの反省から、我々は連休明けに職場などに戻っても、濃厚接触者にならないようにすることを注意してほしいです。マスクなしは当然駄目ですが、マスクがあったとしても、1m以内の近距離で長く話す機会を作らないようにしていくのも一つのポイントと思います。

(知事)

【はじめに】

はじめに、県民の皆さんの命と健康を守るため、この大型連休中も、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆さんに、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。そして、感染拡大防止のため、日々御協力を頂いている、県民の皆さん、事業者の皆さんに心から感謝を申し上げます。

【現状認識】

全国では、1日当たりの新規陽性者数が、概ね2万人台で推移するなど、減少傾向にあるものの、大型連休で人の移動が活発になったことから、全国的な感染再拡大が懸念されます。

本県における新規陽性者数も、先月中旬以降、前の週の同じ曜日を下回る日が多くなっており、減少傾向が見られますが、依然として高止まりが続いています。

また、先月は、新規陽性者数の累計が、月別で過去最多となる1万5千人を超え、発生

件数も、月別で過去最多の111件となり、予断を許さない状況にあります。

【感染拡大防止重点対策について】

このような中、本県では、今月15日まで、県全域を対象とした「感染拡大防止重点対策」を実施し、感染対策の徹底を呼び掛けています。

今年の大規模連休は、3年ぶりに行動制限が無かったこともあり、県内においても帰省やレジャー等で多くの人の移動が見られることから、連休明けに職場や学校等で、感染が再拡大することも懸念されます。出勤や登校の前に、再度、各家庭で感染対策を確認していただくようお願いします。

まずは、正しいマスクの着用や手洗い、換気など、基本的な感染対策の徹底を改めてお願いします。

さらに、喉の痛みや発熱の症状がある場合は、出勤、登校を控え、かかりつけ医等に相談し、早めの受診をお願いします。

症状がある時には、友人等に会わない、誘いがあってもお断りするなど、人との接触を避ける行動を取り、大規模連休後の感染再拡大を防いでいきましょう。

また、5月8日まで、福島駅西口に臨時の無料検査場を開設しているほか、県内各地に無料で検査を受けることができる窓口がありますので、大規模連休中に人込みなど、多くの人が集まる場所に出かけ、その後、症状はないものの、感染への不安や心配がある方は、是非御活用ください。

【会議総括】

現在、本県では、感染力が強いオミクロン株B.A.2系統への置き換わりが進んでおり、短期間で爆発的に感染が広まる恐れがあります。第7波を可能な限り低く抑え込むためにも、この連休明けに感染を拡大させないことが重要であり、引き続き、県民の皆さん、事業者の皆さんと心を一つにして取り組んでいく必要があります。

県としても、「ここで第7波を何としても抑え込む」という強い決意の下で、感染症対策と社会活動・経済活動の両立を図っていくことができるよう、全力で取り組んでまいります。

各部局、各地方本部、各保健所においては、大規模連休後の感染状況を注視するとともに、引き続き、強い危機意識を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速に、的確に対応を進めてください。